

カプセル内視鏡のパイオニア、ギブン・イメージング社、 2008年第4四半期業績および2008年度通期業績報告

2008年度総売上高 11%増の1億2,510万ドル、純利益 400万ドル、
2009年の売上予想 1億4,100万ドル～1億4,800万ドル、特別配当を発表

ギブン・イメージング社 (NASDAQ: GIVN、イスラエル ヨクナム) は、2008年12月31日を期末とする2008年第4四半期業績と2008年度通期業績を発表しました。

2008年第4四半期の世界における総売上高は、前年同期の3,430万ドルに対して1.5%減の3,380万ドルとなっており、2008年第4四半期の売上総利益率は、前年同期の71.5%に対して72.6%でした(480万ドルの一括償却費用を除く)。

2008年第4四半期の純利益は、前年同期の1,280万ドル、完全希薄化後1株当たり利益0.41ドルに対して、純損失は、それぞれ200万ドルと0.07ドルでした。2008年第4四半期の純損失には、Bravo pHモニタリング事業買収に関連する研究開発費の一括償却費用470万ドルが含まれており、この一括償却費用を除外後では、2008年第4四半期の純利益は270万ドル、完全希薄化後1株当たり利益は0.09ドルとなります。2007年第4四半期の純利益には、Johnson & Johnsonとの契約解消による利益2,290万ドルおよび税金300万ドルが含まれています。この一時費用を除くと、2007年第4四半期の純利益は710万ドル、1株当たり利益は0.24ドルになります。2007年および2008年の第4四半期および通期の純利益に影響を及ぼした特別事項については表にて後述します。

2008年12月31日時点の現金および現金同等物、短期投資および有価証券の総額は9,030万ドルでした。

「2008年度は、前期比11%増の売上を上げることができて大変うれしく思っています。景気後退の中、このような好業績を達成できてうれしく思っています」と、ギブン・イメージング社のホミ・シャミール社長兼最高経営責任者は述べています。「昨年、当社は、人材育成、世界展開、パートナーシップの締結、新製品開発に引き続き注力してきました。その結果、あらゆる点において明らかに成長していることを示す報告ができたことをうれしく思っています。2009年は、PillCam SBの売上を世界的に伸ばすチャンスです。日本における世界有数企業との提携、またGERD(胃食道逆流症)の標準診断法として確立されているBravo pHモニタリング・システムをはじめとする数々の画期的な新製品も投入していきます。さらに、2009年中に、PillCam COLON 2の臨床試験を開始する計画です。この製品は、大腸癌のスクリーニング・ツールとして、また大腸内視鏡の補完的な検査に非常に有用であることが実証されることと思います。2009年を迎え、不確実な経済環境を認識する一方で、慎重かつ楽観的な見方として、各地域における多大な貢献が寄与し、今年も売上と利益が伸びるものと予想しています」

2008年第4四半期の売上分析

アメリカ地域の売上は、前年同期の2,190万ドルに対して5%減の2,070万ドルでした。ヨーロッパ・中東・アフリカ地域の売上は、前年同期の830万ドルに対して16%増の970万ドル、またアジア太平洋地域の売上は、前年同期の400万ドルに対して16%減の340万ドルでした。

2008年第4四半期におけるPillCam SBの世界販売個数は、前年同期比2%増の55,800個でした。

アメリカ地域における PillCam SB の販売個数は、前年同期の 39,800 個に対して 5%減の 37,700 個でした。ヨーロッパ・中東・アフリカ地域とアジア太平洋地域における PillCam SB の販売個数は、前年同期比でそれぞれ 19%と 23%の増加でした。2008 年第 4 四半期における PillCam SB の世界受注個数は、前年同期の約 50,600 個に対して 9%増の約 54,800 個でした。アメリカ地域における PillCam SB の受注個数は、前年同期の 36,900 個に対して 1%増の 37,300 個でした。ヨーロッパ・中東・アフリカ地域とアジア太平洋地域における PillCam SB の受注個数は、前年同期比でそれぞれ 18%と 72%の増加でした。

2008 年第 4 四半期の総売上占める PillCam SB の売上は、前年同期の 79%に対して 83%でした。

2008 年第 4 四半期の補足データに関しては、www.givenimaging.com の Investor Relations セクションをご覧ください。

2008 年度通期業績

2008 年 12 月 31 日を期末とする 2008 年度の総売上高は、前期の 1 億 1,290 万ドルに対して 11%増の 1 億 2,510 万ドルでした。2008 年度の売上総利益率は、前期の 69.4%に対して 73.6%でした。一括償却費用の影響を除く 2007 年度の売上総利益率は 73.7%でした。2008 年度の純利益は、前期の 1,520 万ドル、完全希薄化後 1 株当たり利益 0.49 ドルに対して、それぞれ 410 万ドルと 0.13 ドルでした。Bravo の事業買収による一括償却費用 470 万ドルの影響を除くと、2008 年度の純利益は 880 万、完全希薄化後 1 株当たり利益は 0.29 ドルになります。2007 年および 2008 年の第 4 四半期および通期の純利益に影響を及ぼした特別事項については表にて後述しています。

2008 年度の営業活動による純現金収入は 950 万ドルでした。

各地域における 2008 年度の総売上高は、アメリカ地域で前期比 3%増の 7,550 万ドル、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域で 28%増の 3,490 万ドル、アジア太平洋地域で 25%増の 1,450 万ドルでした。PillCam SB の 2008 年度の総売上高は、前期比で 14%増でした。2008 年度における PillCam SB の世界販売個数は 21 万個でした。

損益計算書に関する追加情報

2007 年度ならびに 2008 年 12 月 31 日を期末とする 2008 年第 4 四半期および 2008 年度通期の損益計算書には、以下の費用（収益）が含まれています（単位：100 万 US ドル）

	2008 年 第 4 四半期	2008 年 通期	2007 年 第 4 四半期	2007 年 通期
ストックオプション（FAS123R）	1.7	6.9	1.7	5.6
InScope 利益	-	(54.4)	(22.9)	(22.9)
InScope 利益に対する税金	-	-	3.0	3.0
統合した研究開発部門の償却費用	4.7	4.7	-	-
IP 訴訟費用	0.1	3.2	2.5	5.2
オリンパスとの和解契約費用	-	(2.3)	-	-
OCS への早期返済（売上原価への影響）	-	-	4.8	4.8
OCS への早期返済の調整費用（正味の研究開発費への影響）	-	-	0.7	0.7
営業権の調整費用	0.3	0.3	-	-
有価証券売却損	-	0.4	--	-

最近の動向

- **Bravo® pH モニタリング事業：**
ギブン・イメージング社は、メドトロニック社 (NYSE: MDT) から胃食道逆流症 (GERD) 検査用 Bravo™ pH モニタリング事業を 2,000 万ドルで買収しました。Bravo システムはカテーテルを用いずにワイヤレスで使用できる唯一の pH 検査システムです。食道に一時的に固定するディスプレイのカプセルを使用し、食道の pH レベルを測定してそのデータを外部受信装置へ送信するシステムです。
- **富士フィルムとの販売提携：**
ギブン・イメージング社は、富士フィルム株式会社との販売代理店契約を拡大することを発表しました。2009 年 1 月 20 日より、富士フィルムの完全子会社である富士フィルムメディカル株式会社を通して、ギブン・イメージング社の PillCam® SB 製品が日本で販売される予定です。
- **経営陣の異動：**
ギブン・イメージング社は、アメリカ法人社長の Christopher Rowland が退社することを発表しました。後任が決定するまで、アメリカ法人、財務 副社長の Edwin Cordell が暫定的に社長に就任します。また、ギブン・イメージング社は、Dr. David Mason を最高医療責任者に指名したことを発表しました。Dr. Mason は認定内科専門医であり、UCB Pharma 社からの移籍となります。

2009 年度業績予想

ギブン・イメージング社は、2009 年度の通期売上高を 1 億 4,100 万ドルから 1 億 4,800 万ドルと予想しています。完全希薄化後 1 株当たり利益は 0.20 ドルから 0.28 ドルと予想しています。この業績予想は、現在の経済環境の不確実性を考慮に入れています。

配当

取締役会において、合計 1,600 万ドル、1 株当たり約 0.54 ドルの特別配当金の支給が承認されました。この特別配当金は、イスラエルの法律に基づく源泉徴収税引後の金額として、2009 年 3 月 10 日またはその前後に支払われる予定です。配当金支払いの対象は、2009 年 2 月 24 日の業務終了時点における株主名簿記載の株主とします。NASDAQ Global Market で普通株取引を行っている場合の配当落ち期日は 2009 年 2 月 20 日とし、Tel Aviv Stock Exchange で普通株取引を行っている場合の配当落ち期日は 2009 年 2 月 25 日とします。

取締役会において、ギブン・イメージング社の現在および今後予想される流動資産、業績の見通し、成長戦略について検討した結果、総額約 1,600 万ドルの配当金支払額は、会社が予想する現金需要を上回るものと取締役会において結論が出されました。したがって、現在のところ、追加配当金は予定していません。

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、2001 年から、PillCam®プラットフォームのコンセプトを基盤とした革新的で患者様に優しい先進的な消化管診断ツールを提供しています。PillCam® SB は小腸、PillCam® ESO は食道、PillCam® COLON は大腸の自然のままの消化管画像を提供します。PillCam® カプセル内視鏡は、患者様が嚥下するカプセル型の小型ビデオカメラです。ギブン・イメージング社では、他にもカプセル型製品を販売しております。PillCam®カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか、開通性をみるための AGILE、胃食道逆流症(GERD)の pH 検査に使用する医療機器としては、カテーテルを使用しない唯一のワイヤレス 48 時間 pH 検査システムの Bravo®があります。ギブン・イメージング社の製品は、最先端のワイヤレス通信技術とソフトウェアを使用することにより、より正確な消化管疾患の診断を可能とし、患者様には、より適切な治療を実現することができます。全てのギブン・イメージング社の製品は低侵襲性で、かつ無拘束であり、患者様は検査中も日常生活を送ることが可能です。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。 <http://www.givenimaging.com>.

日本法人 ギブン・イメージング株式会社について

ギブン・イメージング株式会社(東京都千代田区、社長: 笈川義徳)は、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、現在世界のカプセル内視鏡市場における圧倒的なシェアと豊富な経験を持つギブン・イメージング社(Given Imaging Ltd. 2001年 NASDAQ 上場)の日本法人であり、日本におけるカプセル内視鏡の製造販売会社です。

<ホームページ>

<http://www.givenimaging.co.jp>

注) 日本では、PillCam® SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。また国により適応が異なります。米国では大腸用の PillCam COLON は認可されていません。

今後の見通し

このプレスリリースは、米国の 1995 年民間有価証券訴訟改革法の免責条項内での見通しを含んでいます。これらの見通しは、私たちのビジネス、将来の収益、経費、収益性に関する予測などが含まれています。見通しは、「可能性がある」「予期する」「見積もる」「期待する」「意図する」「予定する」「確信する」といった将来を示唆する用語を伴いますが、必ずしもそうでない場合もあります。見通しは、既知および未知のリスクと不確実性および、出来事、結果、業績、状況または企業の達成事項を引き起こす可能性のある他の要因を含みますが、見通しで述べられた将来の出来事、結果、業績、状況または達成事項は著しく異なることがあります。見通しとは異なる出来事、結果、業績、状況、達成を引き起こす要因としては、下記を含みますが、下記に限りません。

(1) 新製品を開発し、市場に投入する能力(2)規制当局の認可、弊社製品の販売許可、または規制環境の変化に対応できる当社の能力 (3) 当社の販売、マーケティング、生産計画の成功 (4) 特許および他の知的財産権の保護と有効性 (5) 為替レートの影響 (6) 競合他社の影響 (7) 重大な訴訟結果(8) 政府および商業的保険者から保険収載を得る当社の能力 (9) 四半期の業績の変動 (10) イスラエルにおける武力衝突または市民または軍による騒乱 (11)米国証券取引委員会に提出され公開されている他のリスクと要因は、Form20-F で提出した 2007 年 12 月 31 日に終了した年次報告書に掲載されている Risk Factors (リスク要因)、Cautionary Language Regarding Forward Looking Statements(将来の業績に関する見通しの注意事項)、Operating Results and Financial Review and Prospects(営業成績と財務概況と見込み)の表題で記載されていますが、これらに記載されているリスクと要因に限りません。このプレスリリースに含まれる見通しはプレスリリースの日付時点のものであり、過度に信用を置かないようにしてください。関連する証券取引法に基づき重要情報を公開する義務以外は、企業には見通しの変更や、出来事、予期せぬ出来事の発生を公表する義務はありません。

###

(以下、財務諸表)

ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社

2008 年通期連結貸借対照表 資産の部

単位：千米ドル（1 株当たり利益を除く）

	12月31日	
	2008	2007
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	\$ 31,697	\$ 37,103
短期投資	28,509	23,191
売上債権		
• 売掛金（純額）	21,673	23,315
• その他	4,662	10,385
棚卸資産	18,931	15,960
仕入先前渡金	3,540	190
繰延税金資産	1,178	1,350
前払費用	1,631	1,289
流動資産合計	111,821	112,783
保証金	1,094	892
従業員退職金用資産	3,686	3,007
有価証券	30,063	41,629
固定資産（減価償却累計額控除後）	15,115	15,422
その他資産（償却累計額控除後）	12,067	3,583
営業権	4,069	-
資産合計	\$ 177,915	\$ 177,316

ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社

2008年通期連結貸借対照表 負債/資本の部

単位：千米ドル（1株当たり利益を除く）

	12月31日	
	2008	2007
負債および株主資本		
流動負債		
キャピタル・リース債務－短期借入	\$ 114	\$ 121
仕入債務		
• 買掛金	7,418	7,275
• その他	17,612	21,012
繰延収益	1,523	9,379
流動負債合計	<u>26,667</u>	<u>37,787</u>
長期負債		
キャピタル・リース債務	485	448
従業員退職金負債	4,599	3,490
長期負債合計	<u>5,084</u>	<u>3,938</u>
負債合計	<u>31,751</u>	<u>41,725</u>
少数株主持分	<u>1,993</u>	<u>1,996</u>
株主資本		
普通株式、1株額面NIS 0.05（授権株式数 90,000,000； 発行済全額払込済株式数 2007年12月31日、29,241,785株 2008年12月31日、29,257,785株	343	343
資本剰余金	173,983	166,813
資本準備金	2,166	2,166
その他包括的累積損失	(600)	-
累積欠損金	(31,721)	(35,727)
株主資本合計	<u>144,171</u>	<u>133,595</u>
負債および株主資本合計	<u>\$ 177,915</u>	<u>\$ 177,316</u>

ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社

2008 年度第 4 四半期ならびに通期連結損益計算書

単位：千米ドル（株式数および 1 株当り利益を除く）

	通期業績 1/1 - 12/31		四半期業績 10/1 - 12/31	
	2007 (監査済)	2008 (未監査)	2007 (監査済)	2008 (未監査)
売上	\$ 112,868	\$ 125,108	\$ 34,296	\$ 33,376
原価	(29,721)	(33,001)	(9,761)	(9,265)
政府補助金ロイヤリティ早期返金	(4,843)		(4,843)	
総利益	78,304	92,107	19,692	24,511
営業経費				
研究開発費総額	(12,847)	(15,126)	(3,754)	(3,597)
買収開発部門の償却費		(4,700)		(4,700)
政府補助金ロイヤリティ	1,242	1,530	(431)	440
研究開発費純額	(11,605)	(18,296)	(4,185)	(7,857)
販売促進費	(55,446)	(60,902)	(16,865)	(14,333)
一般管理費	(20,981)	(19,320)	(6,474)	(4,871)
販売提携解消費	22,860	5,443	22,860	-
その他	(422)	(867)	(422)	(867)
営業経費合計	(65,594)	(93,942)	(5,086)	(27,928)
営業利益 (損失)	12,710	(1,835)	14,606	(3,417)
財務収益純額	5,520	4,004	1,505	809
法人税および少数株式前利益 (損失)	18,230	2,169	16,111	(2,608)
法人税	(4,548)	(250)	(4,059)	(17)
少数株式前利益 (損失)	13,682	1,919	12,052	(2,625)
小会社少数株式損失	1,503	2,087	783	562
純利益 (損失)	\$ 15,185	\$ 4,006	\$ 12,835	\$ (2,063)
1 株当り利益				
普通株 1 株当り基本利益	\$ 0.52	\$ 0.14	\$ 0.44	\$ (0.07)
普通株 1 株当り希薄化後利益	\$ 0.49	\$ 0.13	\$ 0.41	\$ (0.07)
普通株 1 株当り基本利益を 計算するのに用いた 普通株の加重平均数	28,961,968	29,254,035	29,206,977	29,257,785
普通株 1 株当り希薄化後利益 を計算するのに用いた 普通株の加重平均数	31,030,459	30,798,360	31,388,068	29,718,331

ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社
連結キャッシュフロー計算書

単位：千米ドル 各期 12 月 31 日時点

	2008	2007	2006
営業活動によるキャッシュフロー：			
純利益（損失）	\$ 4,006	\$ 15,185	\$ (1,508)
営業活動に使用された純現金と純利益との調整項目			
小会社損失少数株式	(2,087)	(1,503)	(1,334)
減価償却および償却	5,183	4,771	4,237
研究開発部門統合費用	4,700	-	-
営業権減損	406	-	-
繰延税金資産	172	24	(155)
ストックオプション	6,918	5,651	5,213
ストックオプションへの税制優遇措置	-	(693)	-
その他	621	380	18
売却目的有価証券純 減（増）	-	5,092	(5,060)
売掛金 増（減）	1,642	(4,428)	(562)
その他未収金 減（増）	5,723	(8,922)	4,801
前払費用 減（増）	(342)	51	(320)
仕入先前渡金 減（増）	(3,350)	(108)	250
棚卸資産 減（増）	(2,971)	2,208	(1,996)
仕入債務 増（減）	(3,287)	8,570	500
繰延収益 減	(7,856)	(14,903)	(1,223)
営業活動による純現金収入	<u>9,478</u>	<u>11,375</u>	<u>2,861</u>
投資活動によるキャッシュフロー：			
固定および無形資産の購入	(6,300)	(5,772)	(5,876)
事業統合による固定/無形資産、営業権購入 預金	(16,660)	-	-
	(192)	(355)	(41)
有価証券売却代金	67,743	18,753	13,120
固定資産売却代金	61	-	-
有価証券の購入	(61,986)	(36,584)	(37,960)
投資活動による純現金支出	<u>(17,334)</u>	<u>(23,958)</u>	<u>(30,757)</u>
金融活動によるキャッシュフロー：			
キャピタルリース債務元本支払	(120)	(37)	(14)
普通株式発行による収益	252	4,280	2,037
ストックオプションへの税制優遇措置	-	693	-
小会社株式発行収益	2,288	-	4,772
金融活動による純現金収入	<u>2,420</u>	<u>4,936</u>	<u>6,795</u>
為替レート変更によるキャッシュへの影響	<u>30</u>	<u>240</u>	<u>255</u>
現金および現金同等物の 減（増）	<u>(5,406)</u>	<u>(7,407)</u>	<u>(20,846)</u>
期首の現金および現金同等物	<u>37,103</u>	<u>44,510</u>	<u>65,356</u>
期末の現金および現金同等物	<u><u>31,697</u></u>	<u><u>37,103</u></u>	<u><u>44,510</u></u>
キャッシュフロー補足情報			
法人税支払額	<u>\$ 259</u>	<u>\$ 1,098</u>	<u>\$ 300</u>
キャピタルリースによる取得資産	<u>\$ 109</u>	<u>\$ 569</u>	<u>-</u>